

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場会社名 昭和パックス株式会社

上場取引所 大

コード番号 3954 URL <http://www.showa-paxxs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河野 弘征

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 土田 隆夫

TEL 03-3269-5111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	14,529	△1.8	633	△17.4	735	△13.6	478	△7.6
23年3月期第3四半期	14,789	14.7	767	136.3	851	141.8	517	140.8

(注)包括利益 24年3月期第3四半期 261百万円 (△20.0%) 23年3月期第3四半期 326百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	53.80	—
23年3月期第3四半期	58.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	20,098	9,067	43.7
23年3月期	19,269	8,925	44.9

(参考)自己資本 24年3月期第3四半期 8,786百万円 23年3月期 8,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	2.8	940	△7.4	1,010	△8.9	640	3.0	72.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	8,900,000 株	23年3月期	8,900,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	15,243 株	23年3月期	13,250 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	8,885,648 株	23年3月期3Q	8,888,247 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災後の落ち込みから、供給制約の解消に伴って工業生産が急回復したほか、消費マインドの改善で実質消費支出も持ち直し、7～9月期の実質国内総生産は前期比プラス成長に転じました。

しかし、夏場以降、欧州債務問題の再燃に端を発する世界経済の減速や円高の進展によって輸出が落ち込んで工業生産の減速が明らかになり、10～12月期の成長率は鈍化する見通しです。

今後は、震災からの復興需要の本格化により国内景気は徐々に上向いて行くものと見込まれますが、欧州経済低迷の長期化及び新興国経済の減速に円高も加わり、輸出の低迷と生産の減少が懸念されます。また、原発の運転停止に伴う電力制約、国内政治の混乱などが景気の下振れ要因となる恐れがあります。

産業用包装資材の製造・販売を主要事業とする当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、震災後の国内取引先の生産動向、特に樹脂輸出減少の影響を受けて、当社の重包装袋の売上数量が前年同期から減少しました。一方、フィルム製品及びコンテナの売上数量は前年同期を上回りました。子会社では山陰製袋工業㈱は順調に重包装袋売上数量を伸ばしましたが、タイ昭和パックス㈱の重包装袋売上数量は前年同期を下回る結果でした。その結果、連結売上高は14,529百万円で前年同期に比して259百万円の減少となりました。損益につきましては、重包装袋セグメントの売上の減少のほか、クラフト原紙の値上げ等があるため、営業利益633百万円（前年同期比133百万円の減益）、経常利益735百万円（同115百万円の減益）、四半期純利益478百万円（同39百万円の減益）の結果となりました。

セグメントの業績を示すと以下の通りであります。

①重包装袋

重包装袋セグメントの主力製品であるクラフト紙袋は、業界全体の当第3四半期連結累計期間出荷数量（ゴミ袋を除く）は、一部需要家の被災の影響が尾を引いたことと全体的な需要の低迷から前年同期比△3.8%と減少しました。

なかでも輸出包装用を中心に化学品、合成樹脂用途向けの需要の落ち込みが大きく、これが当社のシェアが高い分野であったために、当社の売上数量は前年同期比△8.3%と業界全体よりも大きな減少幅となりました。また、原材料であるクラフト原紙が第3四半期から値上がりしたことも損益に影響を及ぼしました。

子会社の九州紙工㈱の売上数量は前年同期を1.4%下回りました。山陰製袋工業㈱の当第3四半期連結累計期間（1～9月）の売上数量は前年同期比+9.6%と順調でしたが、タイ昭和パックス㈱は、取引先に震災後のサプライチェーンの混乱の影響が及んだ結果、当第3四半期連結累計期間（1～9月）の売上数量は前年同期比△0.2%と微減となりました。

当セグメントの当第3四半期連結累計期間売上高は9,014百万円で、前年同期に対し685百万円の減収となりました。

なお、11月に山陰製袋工業㈱の工場増築が完成、製袋機1ラインを増設しました。

②フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当第3四半期連結累計期間の出荷量は、前年同期比で産業用は横ばい、農業用は減少で、合計では若干の減少となる見通しです。主原材料であるポリエチレン樹脂の価格は第2四半期連結累計期間までは上昇傾向でしたが、当第3四半期連結会計期間は軟化に転じました。ただその後原油価格は上昇しており再度局面が変わる懸念があります。

当社の売上数量は、第3四半期連結会計期間は伸びが鈍化したものの需要に機動的に対応した生産・出荷を行ったことで当第3四半期連結累計期間の出荷量は産業用、農業用いずれも伸び、合計で前年同期比+12.1%となりました。

当セグメントの当第3四半期連結累計期間売上高は3,195百万円で、前年同期に対し265百万円の増収となりました。

③コンテナ

粒状内容物の大型輸送用ワンウェイ・フレコンは復興需要の関係もあって海外からの輸入量が前年同期より大幅に増加しました。

当社の自社製ワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は食品用途向けが伸びたものの化学品用途向けが減少して前年同期を下回りましたが、輸入販売品は樹脂・化学品・飼料・食品用途向けが大きく伸びたため、全体では前年同期比+19.7%となりました。大型コンテナバッグ「バルコン」の売上数量は伸び悩み、前年比△8.7%と減少しました。

当セグメントの当第3四半期連結累計期間売上高は1,287百万円で、前年同期に対し139百万円の増収となりました。

④不動産賃貸

賃貸用不動産と賃貸契約の内容に大きな変動はありませんでした。前期中に本社ビルの賃貸料を改訂したため、当セグメントの当第3四半期連結累計期間売上高は前年同期に対して7百万円減少し、186百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当社グループの当第3四半期連結会計期間末総資産は20,098百万円で、前連結会計年度末から828百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金369百万円、受取手形及び売掛金356百万円、有形固定資産270百万円、主な減少要因は投資有価証券263百万円です。

(負債)

負債合計は11,030百万円で、前連結会計年度末に比べて686百万円増加しました。主な増加要因は支払手形及び買掛金735百万円、主な減少要因は未払法人税等166百万円、賞与引当金156百万円です。

(純資産)

純資産合計は9,067百万円で、前連結会計年度末に比べて141百万円増加しました。主に、利益剰余金の増加362百万円と、その他有価証券評価差額金の減少144百万円によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期の経済成長率は鈍化する見通しであり、第4四半期の景気動向には不確定要因が多数存在します。当社の主力製品であるクラフト紙袋の需要は震災と円高の影響によって全般的に軟調なところに、原材料であるクラフト原紙等の値上がり加わり、当社の経営環境は厳しさを増しております。しかし、グループ全体でタイ昭和パックス㈱並びに山陰製袋工業㈱の設備増設による製造能力増強や製品ラインアップ拡充のシナジー効果等を活用して、売上数量の確保と製品価格の適正化を図って収益の確保に全力を尽くしてまいります。

通期の業績見通しについては、当初の予想（平成23年5月12日発表）を変更せず、連結売上高20,000百万円、経常利益1,010百万円、当期純利益640百万円を見込みます。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,663,081	4,032,636
受取手形及び売掛金	5,780,167	6,136,270
商品及び製品	1,308,553	1,349,102
仕掛品	116,423	98,655
原材料及び貯蔵品	961,051	991,431
繰延税金資産	202,620	203,273
その他	248,425	247,201
貸倒引当金	△22,744	△7,822
流動資産合計	12,257,578	13,050,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,195,999	6,281,144
減価償却累計額	△4,237,368	△4,265,405
建物及び構築物（純額）	1,958,631	2,015,739
機械装置及び運搬具	7,562,376	7,888,544
減価償却累計額	△6,440,963	△6,592,399
機械装置及び運搬具（純額）	1,121,412	1,296,144
土地	847,789	838,140
リース資産	7,362	39,592
減価償却累計額	△2,510	△6,374
リース資産（純額）	4,851	33,218
建設仮勘定	148,182	170,425
その他	598,447	610,945
減価償却累計額	△523,343	△538,237
その他（純額）	75,103	72,708
有形固定資産合計	4,155,970	4,426,377
無形固定資産		
リース資産	3,694	2,819
ソフトウェア	40,743	36,392
電話加入権	9,230	9,230
無形固定資産合計	53,668	48,442
投資その他の資産		
投資有価証券	2,485,160	2,221,885
繰延税金資産	4,791	4,584
その他	379,117	412,824
貸倒引当金	△66,511	△66,421
投資その他の資産合計	2,802,557	2,572,873
固定資産合計	7,012,196	7,047,693
資産合計	19,269,775	20,098,441

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,292,264	5,027,846
短期借入金	2,907,600	2,844,380
未払法人税等	267,211	101,114
賞与引当金	332,571	176,218
役員賞与引当金	24,260	17,053
環境対策引当金	3,980	—
リース債務	2,663	7,497
繰延税金負債	1,707	1,836
設備関係支払手形	4,450	15,700
その他	623,112	1,078,463
流動負債合計	8,459,822	9,270,110
固定負債		
長期借入金	786,000	774,000
退職給付引当金	103,064	139,698
役員退職慰労引当金	83,926	102,327
環境対策引当金	14,005	14,005
資産除去債務	3,836	6,627
負ののれん	227,985	185,238
リース債務	6,487	29,871
繰延税金負債	461,846	313,626
長期預り保証金	197,014	195,212
固定負債合計	1,884,166	1,760,606
負債合計	10,343,988	11,030,716
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	7,408,691	7,771,205
自己株式	△6,193	△7,117
株主資本合計	8,332,844	8,694,434
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	373,773	229,697
為替換算調整勘定	△63,953	△137,639
その他の包括利益累計額合計	309,819	92,058
少数株主持分	283,122	281,232
純資産合計	8,925,786	9,067,724
負債純資産合計	19,269,775	20,098,441

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	14,789,140	14,529,999
売上原価	12,216,543	12,106,209
売上総利益	2,572,597	2,423,789
販売費及び一般管理費	1,805,398	1,789,905
営業利益	767,199	633,884
営業外収益		
受取利息	1,608	1,586
受取配当金	69,974	70,078
負ののれん償却額	42,747	42,747
為替差益	—	595
貸倒引当金戻入額	—	15,001
その他	18,498	18,256
営業外収益合計	132,828	148,265
営業外費用		
支払利息	42,040	43,959
為替差損	1,549	—
その他	5,373	2,554
営業外費用合計	48,963	46,513
経常利益	851,064	735,635
特別利益		
投資有価証券売却益	84	—
固定資産売却益	1,988	1,575
特別利益合計	2,072	1,575
特別損失		
固定資産除却損	1,636	7,453
投資有価証券評価損	—	11,548
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,385	—
環境対策引当金繰入額	17,985	—
投資有価証券売却損	—	116
ゴルフ会員権評価損	—	11,011
特別損失合計	30,006	30,130
税金等調整前四半期純利益	823,130	707,080
法人税、住民税及び事業税	288,208	220,097
法人税等調整額	2,428	△298
法人税等合計	290,636	219,798
少数株主損益調整前四半期純利益	532,493	487,281
少数株主利益	15,218	9,248
四半期純利益	517,275	478,033

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	532,493	487,281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△206,854	△144,107
為替換算調整勘定	1,064	△81,873
その他の包括利益合計	△205,790	△225,980
四半期包括利益	326,703	261,301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	311,513	260,272
少数株主に係る四半期包括利益	15,190	1,029

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,699,552	2,930,822	1,148,236	194,331	13,972,942	816,198	14,789,140
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,699,552	2,930,822	1,148,236	194,331	13,972,942	816,198	14,789,140
セグメント利益又は損失(△)	806,451	53,051	25,669	110,481	995,653	△228,453	767,199

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	995,653
「その他」の区分の利益	59,659
全社費用（注）	△288,113
四半期連結損益計算書の営業利益	767,199

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,014,076	3,195,976	1,287,317	186,850	13,684,220	845,778	14,529,999
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,014,076	3,195,976	1,287,317	186,850	13,684,220	845,778	14,529,999
セグメント利益又は損失(△)	655,353	105,160	△3,245	100,535	857,804	△223,920	633,884

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	857,804
「その他」の区分の利益	60,058
全社費用（注）	△283,979
四半期連結損益計算書の営業利益	633,884

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

- （5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。